

赤い穂で作る 昔ながらの正月飾り

12月10日(土)、11日(日)の「シーオそだて隊」は、ビオトープ「シーオ」の田んぼで収穫した稲わらを使って「正月飾り」を作りました。

参加者からは「イネの活用や生態系など、田んぼの重要性を(子どもが)理解できた様子でした」などの声をいただきました。

まずは水で柔らかくなったイネの葉を丁寧に取り除きます。次に、わらを束ね、根のかたい方を木槌で叩いてさらに柔らかくします。

次年度からは、シーオそだて隊に加え、15歳以上の方を対象にシーオに関する新たな取り組みを始める予定です。お楽しみに！

会場中に、木槌でわらを叩く「コンコンコン…」という音がこだましました。さらに、わらを束ねて、ひねって、しっかりと結び、親子や参加者同士で協力し合いながら、素敵な正月飾りが完成しました。



親子で協力して制作

知っているようで知らない 【ごみの正しい出し方】

電池回収箱

2022年10月から、さいたま市内の区役所、図書館、公民館など54カ所に置かれている**小型家電回収ボックス(黄色)**の横に**電池回収箱(白色)**が設置されました。

小型家電から取り外した電池、バッテリーは電池回収箱へ、本体は小型家電回収ボックス、またはもえないごみへ出してください。電池が外せない場合は、桜環境センターなどのごみ処理施設に直接お持ち込みください。

電池、バッテリーは電池回収箱へ

電池回収箱には電池単体も入れます。**プラス極とマイナス極にセロハンテープなどを貼り、電気が流れないように絶縁処理**をして入れてください。

アルカリ、マンガン乾電池は、「有害危険ごみ」の日に家庭ごみの収集所にも出せます。

＋、－電極にテープを貼って絶縁する



3Rマーケット受け入れ



受入日	申込日
1月20日(金)、21日(土)	1月11日(水)～
2月23日(木・祝)、24日(金)	2月7日(火)～
3月10日(金)、11日(土)	3月5日(日)～

募集

子ども服、用品、春物衣料、小物、着物など

詳細はこちら



各日 10:00～11:30 / 13:30～16:00。電話 **048-710-5345** で予約をしてからお越しください(申込枠があるので受付は先着順)。
※3Rマーケットの引き取り日は後日、市報、HP などでお知らせします。

桜環境センターの 利用団体紹介

グループSEC
たまちゃん

「いのちの成り立ち」伝えたい
グループSECたまちゃん
んは、人が幸せに生きるために必要な命の成り立ち(性教育)や暮らし方、環境について学ぶ講座を開催しています。
テーマは「生きていくって」
講座では、参加者の年齢にあわせた体の仕組みやケア、年齢などによって起こる変化や管理の仕方を伝える



ます。その後、みんなで情報や知識をシェアして学び合い、身の回りで困っている事柄から学習を進めることもあります。
また、使い捨てをしないものは体にも優しいと、布ナプキンや布マスクの制作と販売をするなど、体と環境との関係を講座の中にも取り入れています。
「人間が人間らしく生きていくために、性教育と環境」
「生きものは環境に大きく影響されるので、人間が人間のまま生きていくためには現在の環境を守る必要があります。そのことは体の仕組みを学ぶとよく理解できます。私たちの講座で、より多くの人に楽しく学んでほしいと思っています」と、活動は、さらに幅を広げて続いています。

●グループSECたまちゃんを、より詳しく紹介しているHPはこちら。
みなさんの学びの機会に
環境全とは切っても切り離せないんです」と代表の尾内浩子さん。

